

Media and Communications



メディアの分析や表現を通じて社会を創造する

# メディア表現学科



文教大学 情報学部

Bunkyo University Faculty of Information and Communications



Media and Communications

# メディア表現学科

## メディアの分析や表現を通じて社会を創造する

### メディア表現学科とは

メディア表現学科はメディアとコンテンツ創造で社会や企業の抱える課題を解決し、よりよい社会作り貢献する人材育成を目指しています。コンテンツは人や社会を豊かにするために存在するからです。だからアーティストックなコンテンツも、企業課題解決のためのコンテンツも目的は同じ。共に豊かな社会を作るためのものです。

そして、そのコンテンツを届けるメディアは、より多くの人に効果的に届けるものでなくてはなりません。常に新しい発想でメディア社会を捉え、社会全体を幸せにする情報発信者を育成する、それが私たちメディア表現学科の使命と考えます。

### メディア表現学科の誕生

文教大学は進取の精神に溢れる大学です。私学で一番最初に教育学部を設立した大学。以来、50余年にわたり10,000人以上の先生を教育界に送り出しています。

情報学部もまた日本で一番最初に設置されました。これからの情報社会を見越してのこと。今では多くの大学でみられる情報学部ですが、文教大学の情報学部は1980年の設置です。

日本で最初にできた情報学部ですが、発足当時は広報学科と経営情報学科の2学科体制でした。そんな広報学科を前身に2014年にメディア表現学科が誕生しました。これからは「より発信力が重要になる」という考えからです。



### 学科が目指す人材育成

今の時代は多様なメディアの時代。メディアを知り尽くし、より発信力の強化が大切になってきます。同時に、メディアに振り回されないメディアリテラシーの高い人間を育成することが必要です。

メディアからの発信力の強化とは、コンテンツの強化に他なりません。想像力と創造力に基づいて、有効なコンテンツ開発の仕方を学びます。しかし、単にコンテンツ開発だけなら芸大や美大、専門学校と変わりません。文教大学のメディア表現学科は、常に社会との接点でメディアを捉え、コンテンツを考えるのが特徴です。

メディア表現学科は、社会や企業に横たわる諸問題を客観的なデータに基づいて抽出し、その問題点を的確な課題に置き換え、その課題をメディアとコンテンツを使って解決する術を学ぶ学科です。つまり、高度に情報化する社会にあって、コミュニケーションで社会の諸問題を解決し、豊かな社会作り貢献する人材を育成するのが目的です。



メディア表現  
学科

マスメディア領域

放送・映像分野では、テレビ局や番組制作会社などで求められる専門的な知識や技術を修得します。また、出版・ジャーナリズム分野では、情報収集力、企画発想力、編集力、表現力など、編集者やジャーナリストなどに必要なスキルを養います。

ソーシャルメディア領域

ソーシャルメディアや動画・配信・アニメ・コンテンツなどの専門的な知識を身に付けます。また、各種メディアを用いた広告コミュニケーションの知識と技術を修得します。





他の大学ではない、ユニークな授業がいっぱい

About the Curriculum

# 授業について

## カリキュラムの特徴

①

### 創造性を育む。

#### 自主性の高い少人数制の授業

メディア表現学科では1年次から4年次まで、少人数制で表現系の科目と理論系科目を、バランス良く学びます。豊かな創造性を育むためには、自由度の高い授業環境が必要です。

②

### 理論と実践を学ぶ。

#### アカデミックな教授陣と、実務界出身教授陣が集結

メディア表現学科はすぐに社会で役立つ人材の輩出を意図しています。そのために授業では、理論系科目、実技系科目、実務系科目にそれぞれプロフェッショナルな教授陣が指導にあたります。

③

### 表現力を養う。

#### コンテンツ制作のための充実した設備

文教大学の情報処理施設は全国でも群を抜いており、キャンパス内にスタジオ施設を完備。番組制作の企画から収録、完成までを一貫して学ぶことができます。また、出版編集技術を学ぶことができる専用の演習室も備えられています。

## 授業科目一覧

### 必修科目

社会学概論  
文章演習I  
基礎演習A  
基礎演習B  
メディア社会学  
プレゼミナールA  
マス・コミュニケーション論  
プレゼミナールB  
コミュニケーション・プランニング論  
ソーシャルメディア論  
ゼミナールI  
ゼミナールII  
卒業研究I  
卒業研究II

### 一般選択科目

コンピュータ概論  
コンピュータ基礎  
コンピュータ応用  
ハードウェア  
情報表現デザイン  
構成・シナリオ演習  
写真表現I・II  
アニメーション文化論  
著作権ビジネス論  
情報社会と法  
情報セキュリティ  
社会調査論  
統計学入門  
社会調査の統計学  
メディア効果論  
コミュニケーション論基礎  
言語コミュニケーション論  
異文化コミュニケーション  
記号論  
情報学特殊講義C  
文章演習II  
文献講読  
海外研修A・B  
キャリア研究

### マスメディア領域

#### 放送・映像表現

映像技術演習I(ENG)、映像メディア論、映像技術演習II(スタジオ)、ラジオ制作演習、放送論、映像プロデュース論、映像表現I、ドラマ演習I(演技)、映像編集演習、映像音楽演習、アナウンス演習、映画史、映像表現論、映像表現II、スタジオ番組制作、ドラマ演習II(演出)、アートアニメーション、テレビ企画構想演習、ドキュメンタリー論、映像コンテンツと著作権

#### 出版・ジャーナリズム

記事制作I(取材記事制作)、写真表現I、写真表現II、出版演習、出版論、ジャーナリズム論、記事制作II(カルチャー記事制作)、新聞論、ジャーナリズム史、マンガ論、スポーツジャーナリズム論、ITジャーナリズム論、出版文化論、ジャーナリズム記事制作

#### 広告

コミュニケーションメディア論、マーケティング・コミュニケーション、広告表現I、広告概論、セールスプロモーション、広報・PR論、広告企画演習、広告表現II、企画書の書き方とプレゼンテーション、コンテンツ発想法、広告産業論、ブランド論、コミュニケーション企画演習、コピーライティング、CM制作、コンテンツ産業論

#### 動画・配信・アニメ・コンテンツ

アニメーション基礎、ミュージックビデオ制作A、アニメーション制作A(アニメ)、ショートムービー制作、アニメーション制作B(CGアニメーション)、CG&ゲーム制作(ゲーム企画)、ミュージックビデオ制作B、マンガ表現、サウンドデザイン(DTM音楽)、動画配信演習、アート映像論、UI/UXデザイン

#### ソーシャルメディアコミュニケーション

インタラクティブメディア概論、インターネットコミュニケーション、SNS文化論、メディア調査研究法A(量的調査研究の技法)、メディア調査研究法B(多変量解析の技法)、Webデザイン、インターネットビジネス論、情報学特殊講義A(ネットワーク分析)、パーソナルデータ倫理・法制、メディア調査研究法C(総合演習)、ソーシャルリスニング、デジタルメディア論、メディア文化論、情報学特殊講義B(パーソナルデータ)

### ソーシャルメディア領域

Seminars

# ゼミナール紹介

先生たちの専門って、バラエティに富んでいますね



## 井上ゼミ

井上 裕之  
ジャーナリズム、文章表現  
テレビニュース、言葉と映像

様々なことばと映像があふれる現在、よりスタンダードでわかりやすい表現への関心が急速に高まっています。井上ゼミではことばと映像を使ったコンテンツがどのようにわかりやすく作られているかを分析・研究します。論文執筆あるいは制作を選ぶゼミです。



## 岡野ゼミ

岡野 雅雄  
言語コミュニケーション  
記号論

岡野ゼミナールでは、「言語あるいは記号によるコミュニケーション」を中心に、各ゼミ生がテーマを設定して論文を書き上げます。たとえば、わかりやすく効果的な表現に関する研究、Web サイト・雑誌・新聞等に現れた表現、コンテンツの印象・評価などです。



## 奥村ゼミ

奥村 真司  
外国語教育  
異文化コミュニケーション

グローバル化の進展とともに、アニメ、漫画、ゲームに代表される日本のポップカルチャーは、世界中の若い世代を中心に人気を集めています。日本のポップカルチャーが海外の人々にどのように受け入れられ、影響を与えているのでしょうか。このゼミナールでは、日本のポップカルチャーのグローバル化について研究します。



## 勝久ゼミ

勝久 晴夫  
法学、知的財産法

勝久ゼミナールでは、メディア表現について、著作権法を中心とした法律面から研究します。作品の制作からビジネス展開までの各場面で生じる法律問題に適切に対処できる知識と能力を持ち、戦略的に知的財産法を活用できる人材の育成に取り組みます。



## 清水ゼミ

清水 一彦  
出版

出版の学術的な研究と同時に、3年次には共同で雑誌をつくります。出版業界のプロが見ても恥ずかしくないレベルを目指します。企画、アポ取り、取材、撮影、ページデザイン、原稿執筆、校正などすべて自分たちで行います。4年次には卒業論文を執筆します。



## 白土ゼミ

白土 由佳  
ソーシャルメディア論  
ソーシャルリスニング、ライフスタイル

白土ゼミナールでは、自然に発生した人々の会話や行動などを分析・活用するソーシャルリスニングを学びます。みなさんの身の回りにある様々なおもしろいことの分析を通じて、私たちは今、どのような社会に生きているのかを考えていきます。



## 竹林ゼミ

竹林 紀雄  
放送・映像表現/映像メディア  
ドキュメンタリー

テレビなど映像系メディアで活躍できる人材を育成します。フィクション、ノンフィクションからアートまでの映像理論を学び、映像作品から表現を読み解き、映像表現への理解を深めると共に、独創的で表現力豊かな映像作品の制作に取り組んでいます。在京テレビ局での研修や第一線で活躍するプロフェッショナルとの交流等で、専門性の高い人材を育成しています。



## 日吉ゼミ

日吉 昭彦  
マス・コミュニケーション学  
メディア・リサーチ

マス・コミュニケーション学やメディア社会学の分野で研究を行っています。近年は、フィールドワークで地域や観光活性のためのメディアの役割について研究しています。卒業研究では担当者の専門であるテレビ番組のメッセージ研究を行う学生が多いようです。



## 藤掛ゼミ

藤掛 正邦  
広告デザイン  
編集デザイン

広告デザインは、コンセプト・文字・写真・イラストで構成される。広告の基本はワンビジュアルとワンコピー。編集デザインは、視線の導線の設計が重要です。いずれも人を振り向かせ、メッセージを伝え、見る人の心を一瞬で捕える表現を研究します。



## ボブゼミ

ボブ 田中  
広告  
マーケティング

実際の企業や社会の課題に対して、コミュニケーション視点で解決策を考え実施することを目指します。①情報収集と分析、②課題発見、③アイデア拡散と収束、④論理的なストーリー構築、⑤企画書作成、⑥実施制作進行管理などの一連の流れの中で、社会で生き抜くコミュニケーション力も養っていきます。



## 村井ゼミ

村井 睦  
視覚伝達表現

スマートフォンの普及によってメディアのあり方が変わろうとしています。メディア最大勢力のテレビの接触率(≒視聴率)は下がり続け、人々が情報を得る方法はマスメディアからSNSへと変化しています。村井ゼミでは、既存メディアから新しいメディアへの移行期である「今」の視覚伝達表現を映像やデザインという視点で研究しています。





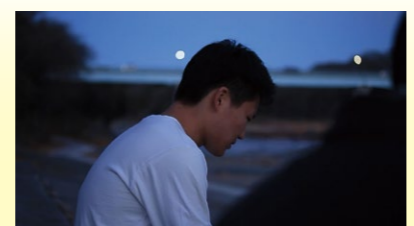
おもしろいアイデアがいっぱいだね!

# Student Works

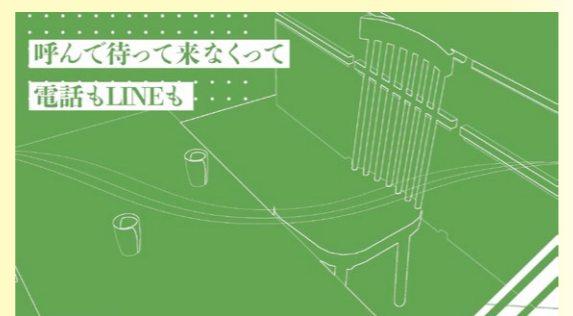
## ゼミ生による制作作品



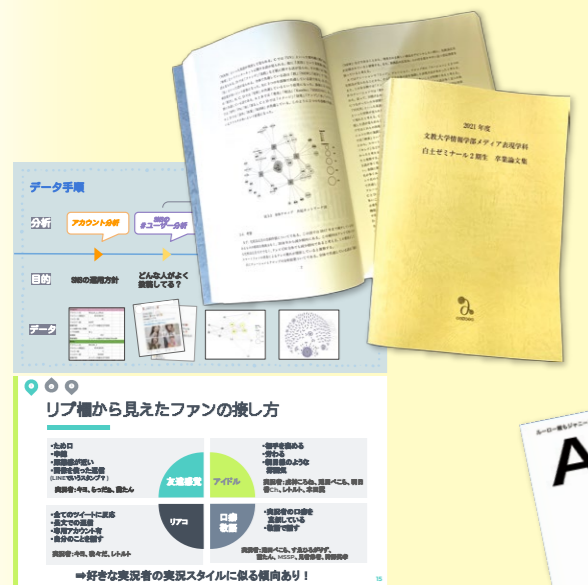
花王コミュニティサイト「これカラボ」への広告バナー提案



ISMIE インターリンク学生映像作品展参加作品



菊池成孔氏プロデュースのオーソロジーの楽曲「苦い」のMV制作

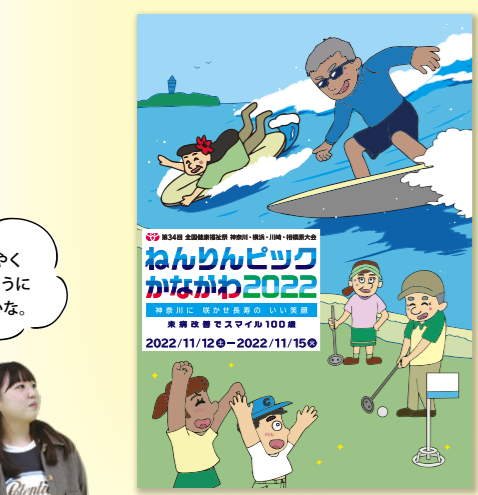


ソーシャルリスニングを通じた研究発表

私も先輩に負けなよう、ガンバる!



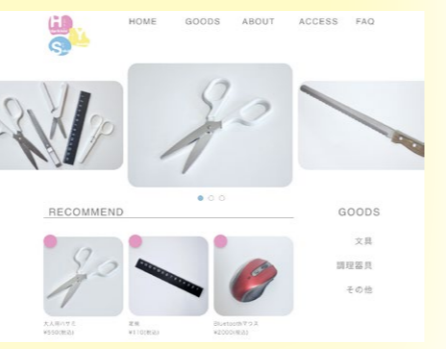
MIE (マガジン・イン・エデュケーション) での雑誌づくり



ねんりんピックかながわ 茅ヶ崎市交流大会 PRポスター



映像スタジオでグリーンバック撮影後に編集をしたミュージックビデオ



プロトタイプデザインツールを用いて制作したWebデザイン

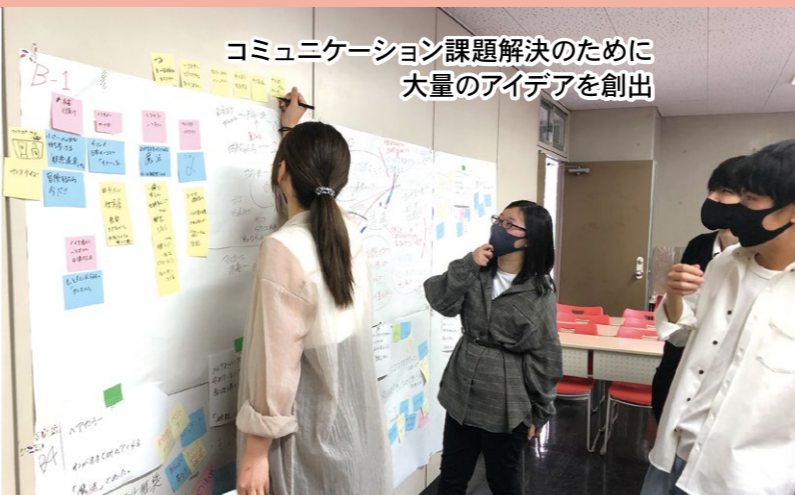
# Student Activities

## 学生の活動

- グループで活動するゼミナールのメディア表現学科 -



いろんな活動があるんだ!



コミュニケーション課題解決のために大量のアイデアを創出



ふだんのゼミの様子



グループ研究の成果を対外発表



雑誌の表紙をどうしようかと真剣に編集会議をしているところ



グループ・インタビュー専用スタジオで調査を進める学生



スタジオにて学生が相互にポートレート写真撮影



MOA美術館の依頼は「見たまま・感じたまま」を凝縮したグループ冊子



民放キー局でテレビ局研修

私めはやく作れるようになりたいな。





驚きの、  
学科生の生活を  
紹介!



Campus Life

# キャンパスライフ

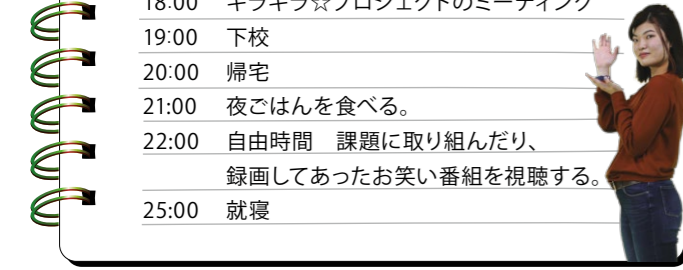
## ある学科生の一日

### Profile

Kさん。メディア表現学科2年。20歳。神奈川県出身。  
趣味は、お笑いを観ること。特技は、サックス演奏。  
映像制作業界を志望。

### Schedule

5:30 起床  
7:10 登校 ← この間に朝ご飯を食べる。  
8:44 学校に到着  
9:10 1限 映画分析演習を受講  
10:50 2限 演技・パフォーマンス演習を受講  
12:20 お昼休み  
13:10 3限 プレゼминаールBを受講  
14:50 4限 映像プロデュースを受講  
16:20 空き時間、残っている課題に取り組む。  
18:00 キラキラ☆プロジェクトのミーティング  
19:00 下校  
20:00 帰宅  
21:00 夜ごはんを食べる。  
22:00 自由時間 課題に取り組んだり、  
録画してあったお笑い番組を視聴する。  
25:00 就寝

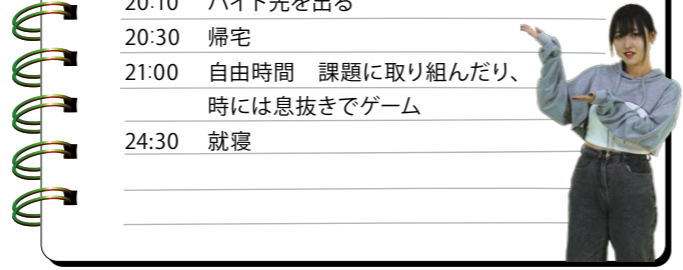


### Profile

Gさん。メディア表現学科2年。19歳。茨城県出身。  
趣味は、歌を歌うこととTRPG。特技は、タイピング。  
広告業界志望。

### Schedule

8:30 起床  
9:30 登校  
10:07 バスに乗る  
10:50 2限 情報英語Cを受講  
12:20 お昼休み  
13:10 3限 プレゼминаールBを受講  
14:50 4限 広告概論を受講  
16:30 学校を出る  
18:00 バイトに出勤  
20:10 バイト先を出る  
20:30 帰宅  
21:00 自由時間 課題に取り組んだり、  
時には息抜きでゲーム  
24:30 就寝



## ある学科生のリュックの中身



私の必需品はパソコン・ルーズリーフ・メガネケース。  
講義中はルーズリーフにメモを取りますが、授業中に  
調べものをするのにもパソコンは使っています。また  
メディア表現学科には映像や雑誌創作の授業も多く、  
イラストレータなどの編集ソフトが搭載された私のパ  
ソコンは四六時中、大活躍です。 Kさん



パソコンはノート代わり。講義内容は全てパソコンに  
打ち込んでいるのでキャンパス生活には欠かせません。  
TOEICのテキストは今度、試験を受けるためのもの。  
スコア 600 点を目指しています。それもあって英語の  
授業はたくさん受講しています。やる気があればそれ  
に答えてくれるのがメディア表現学科です。 Gさん

Campus Facilities

# 施設環境

学科生の  
よく使う施設を  
紹介します



**1** スタジオ  
完全ハイビジョン化の本格的な  
撮影スタジオでは、テレビの番  
組制作の演習などで使用します。



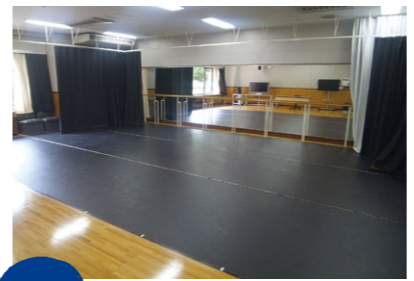
**2** 出版編集演習室  
この施設では、出版物を制作す  
るときには欠かせない、Apple  
のMac が置かれています。



**3** 教室 7101  
7101 教室は、通称メディアパーク  
と呼ばれています。この教室  
では、主に課題制作を行って  
います。Apple のMac もあり  
ます。



**7** 大教室  
メディア表現学科には、実技以  
外にも座学の科目もありますが、  
この教室では、座学の講義を受  
講します。



**6** スタジオパフォーマンス  
パフォーマンス演習で使用しま  
す。広い教室なので、体を動か  
すのにピッタリです。



**5** 図書館  
25万冊の書物を所蔵しています。  
図書館の中には、グループワ  
ーク用などの学習に必要なスペ  
ースもあります。



**4** 食堂  
食堂は、学生の息抜きスポット  
です!ここでは、美味しい学食  
も食べられます。おすすめのメ  
ニューは、醤油ラーメンです。

充実の施設がたくさん!  
私たちと一緒に  
ここで学びましょう



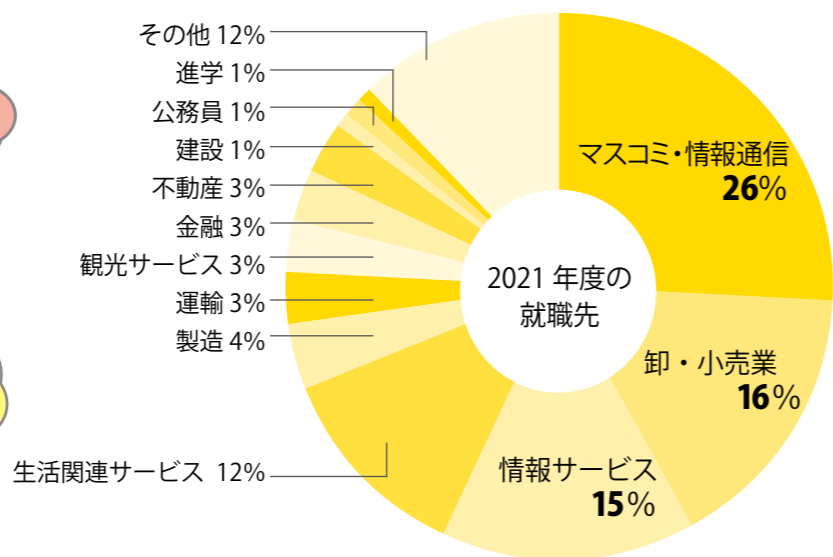




# Careers After Graduation 卒業後の進路

## “なりたい自分になる”

メディア表現学科では、各メディア関連のコンテンツ創造を、理論と実践の両面から学びます。  
そのため、テレビディレクターやプロデューサーとしてテレビ業界で活躍する人を多く輩出しています。  
さらに、出版業界、新聞業界、広告業界、リサーチ業界の他、企業の広告・広報部門や販売企画部門、マーケティング部門や商品開発部門で活躍する人材もたくさん輩出しています。



## 主な就職先

### CM制作会社 株式会社AOI Pro.

CMを中心とする映像制作会社に勤務しています。いま、私は自分のやりたいことができ、楽しく刺激的な日々を過ごせています。メディア表現学科には、専門を突き詰めて学べる環境が整っています。他大学ではない環境。映像や広告についてより深く学べる環境だったからこそ今の自分があると感じています。

(2017年度卒業・山田 悠)

### 映像技術会社 株式会社フジ・メディア・テクノロジー

中学時代に見た音楽番組がきっかけで“映像”と“音”を駆使したテレビ番組というコンテンツに興味を持ち、スタジオなど番組制作に特化した授業や設備のある文教大学に入学しました。企画・撮影・編集の全ての過程を経験し、編集に携わりたいと思いました。卒業後は技術面から大好きなテレビ番組を支えて行きたいです。

(2019年度卒業・安江 綾花)

### セールスプロモーション会社 株式会社レッグス

私は大学で“広告”に出会い、その面白さに惹かれ、広告業界を志望しました。そして今、SP会社（セールス・プロモーション会社＝販売促進）で働いています。モノを売るために広告とSPは両輪。学生時代に培った忍耐力と経験が私に自信をくれ、忙しくも充実した日々を過ごしています。文教大学で良かった！と、今、自信と誇りを持って言えます。

(2016年度卒業・渡邊 真帆※旧広報学科)

### 学習塾広報室 株式会社さなる

「広告デザイン」と「教育」2つの分野に関心を持ち、今の会社と出会いました。大学では専門ソフトで作品作りをしながら、学習塾で子どもと関わってきました。今は予備校で広告・PRを担当しています。実務では「いかにクライアントのニーズに合ったものを作るか」が大事です。文教大学は設備も充実しているので、どんどん使いこなしていってほしい。

(2019年度卒業・木村 由紀子)

### 社会調査会社 株式会社サーベイリサーチセンター

調査会社で地方自治体と新しい街づくりや観光資源を推進するための業務に携わっています。どうすれば地方再生ができるのか、そのために何を調べ、どのような解決策を導き出せばいいのか日々考えています。調査は考えるための基礎。大学時代もリサーチを学んでいました。大学での経験は卒業後の今の人生の支えになっています。

(2017年度卒業・沓掛 雅哉)

### 水産練り製品の製造および販売 株式会社鈴廣蒲鉾本店

幼い頃から本が好きで、出版業界やそれを宣伝する広告について学ぶことができ、文教大学に入学しました。授業では様々なジャンルの書籍について学び、それを活かして文章を書き添削し、本ができるまでを経験することができました。また、商品がお客様に届くまでの宣伝方法やその効果を学べたことは、今後の強みになると感じています。文教大学では出版以外にも様々なコンテンツについて学び、知識や興味が広がったと思っています。

(2021年度卒業・高橋 伽奈)

## Career Services

# 就職支援体制



湘南キャンパスには「キャリア支援課」があり、常時5名の職員が学生の進路指導にあたっており、気軽に相談できる体制が整っています。就職ガイダンス、公務員対策講座、筆記試験対策講座、企業説明会の開催や、履歴書・エントリーシートの添削、模擬面接、求人紹介など個別相談も随時行っています。

## キャリア支援課の年間スケジュール

4～6月	春季就職活動スタートガイダンス（就職活動の流れ、準備に向けてのガイダンス） 進路個人面談（通年） インターンシップガイダンス（マナー講座、履歴書の書き方、企業研究方法など） 業界研究セミナー 地方就職セミナー 筆記試験対策講座/就職模試 公務員試験対策（Web講座/フォロー講座/模試/勉強会）
7・8月	ビジネスマナー講座 夏期インターンシップ
9～1月	秋季就職活動スタートガイダンス（就職活動の流れ、準備に向けてのガイダンス） 就職ガイダンス（マナー講座、履歴書の書き方、企業研究方法など） 業界研究セミナー 面接対策講座 筆記試験対策講座/就職模試
2・3月	業界研究セミナー/面接試験対策

※上記の行事は、年度によって多少開催時期が異なる場合があります



# 高等教育の修学支援新制度

文教大学は修学支援新制度の対象大学として文部科学省より正式に認められています。これを受けて、2020年度より支援対象となる住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯に該当する本学学生に修学支援を行います。高等教育の修学支援新制度については、文部科学省のホームページにおいてご確認ください。

## 奨学金制度

制度名		内容	返還の要・不要
文教大学奨学金		対象：勉学の意欲を持ちながら経済的に修学が困難な学生(1~4年生) 資格：勉学に熱心に励む意思があり、かつ、その努力をしているが学資の支弁が困難な者、成績基準を満たしている者 ※高等教育の修学支援新制度との併給不可	返還の必要がない 給付型奨学金です
文教大学金緊急特別奨学金		対象：全学年（但し、1年生の出願は秋学期のみ） 資格：家計が急変し、修学の意思があるにもかかわらず、学費を納入することが困難な者、成績基準を満たしている者（その他出願条件あり） ※家計急変時期や事由に定めあり ※在学中に一度のみ採用 ※高等教育の修学支援新制度との併給不可	返還の必要がない 給付型奨学金です
日本学生 支援機構奨学金	第一種奨学金 (無利子)	独立行政法人日本学生支援機構法に基づいて施行されている奨学金制度です。人物・学業ともに優れ、かつ健康であって、経済的理由により修学が困難な学生を対象としています。	卒業後に返還が義務付けられている 貸与型奨学金です
	第二種奨学金 (有利子)		

# 本パンフレットは 「キラキラ・プロジェクト」 が作りました。

私たち「キラキラ・プロジェクト」は、先生方と一緒にメディア表現学科を盛り上げています。学生みんなが、メディア表現学科を卒業する時に、「この学科に来てよかった!」と思ってもらえるように、授業で学んだ事を活かした調査活動や SNS での情報発信活動、また、様々な改革アイデアなどの提案活動を行っています。

大学生活に対する不安や質問などあれば、気軽にメールをしてください。お待ちしております。

[kirara.puroro.nakamatati@gmail.com](mailto:kirara.puroro.nakamatati@gmail.com)

SNS



Facebook



Twitter



Instagram

動画



Youtube

今の私は、人生で一番楽しい!

新しい自分に出会えた場所。

やってみたくて実現できる!

「つくる」に触れて日常が更に楽しくなった!

みんなと一緒に楽しみながら、自分のスキルを磨くことができる!

多くのメディアについて学べる!ここでの経験は私の宝になる!

